

第8回 広域ごみ・汚泥処理施設整備検討委員会まとめ（要点筆記）

- 《開催日》 平成22年11月29日（月） 午後2時00分から
《場 所》 豊岡市立図書館 視聴覚室
《出席者》 委 員：寺嶋均、本庄四郎、市川陽一、松永正博、
宇都出敏文、池田登志、山村紀久子、尾崎美津人、
杉本章、中田隆子、橘清治（敬称略）
組 合：組合職員 5名
合計16名

《内 容》 委員会次第

1. 開会
2. 協議事項
 - (1) 啓発機能計画について
 - (2) 報告書の取りまとめについて
3. その他
 - (1) 次回の開催日について
4. 閉会

【質問・意見等】

(啓発機能計画について)

《修理・再生の場》

- ・工房については、多目的に利用できるものとするが、何をするのかによって工具等の整備が必要である。
- ・多目的工房での作業と外（処理施設外）での作業では準備するものが異なる。
- ・周辺の山林再生との兼ね合いも考慮しなければならない。
- ・周辺の山林から間伐材を取って木工をするというのは、ごみの問題（リサイクル等）の観点からすればおかしいのではないか。
- ・ごみ処理施設に限定せずに多目的（複合的）な効果がある施設と考えればおかしくはないし、リピーターを得ることも考慮しなければならない。
- ・収集品の中から現場の判断により使用できそうな物を展示場に置き、希望される方があれば無料で引き渡すこととするが、引取り人が責任をもつことを条件としなければならない。
- ・収集品で再利用する物は、保管兼展示コーナーに收容する。

《展示・提供の場》

- ・衣類（特に着物が再生しやすい）のリフォームやパッチワークの展示場も必要ではないか。
- ・リサイクル体験コーナーにミシン等、多目的に使える設備を整備してはどうか。
- ・衣類の収集（回収）・再利用は難しい。
- ・リサイクルフェアを開催することを念頭にして着物（和服）を展示するほうが経済的にも良いのではないか。
- ・リフォーム品の展示は、常設展示ではなく会議室を利用して、日を決めて行うほうが良いのではないか。

《情報提供・学習の場》

- ・視察時における施設内で説明者の声が聞こえにくいことから、スピーカーを設置して見学者に声が届くようにする。
- ・環境学習コーナーは、どういう観点から入っていくのかが重要である。先ずごみから入ったらどうか。
- ・ごみ処理の全体像があれば良い。例えば、北但のごみ処理がどのようにされているのか。全国の処理はどうなっているのかなど。
- ・コーナー（ゾーン）分けして展示すれば良いのではないか。

《地域活動・コミュニティ形成支援の場》

- ・大規模な講演会やイベント場をする場合には、駐車場の確保が困難となるため、小規模なものを想定しておくこととする。
- ・子ども達等の施設見学前の事前学習の場は、会議室を使うのか。それとも体験コーナーを使うのか。

- ・これから検討することではあるが、一般的には会議室になると思われる。

(その他)

《周辺整備との関連》

- ・施設外での作業（木工、竹炭、たけのこ掘り等）に対する整備計画の必要性も考慮しなければならない。
- ・ごみ処理施設だけでなく、環境の情報発信のモデルケースにすべきである。
- ・間伐等の森林整備により周囲への波及効果も見込めるのではないか。
- ・多目的工房での作業とは別に、施設外に作業小屋を造って作業（体験）を行える施設整備なども考えたほうが良い。
- ・ゾーニング図との関連も考慮しなければならない。
- ・インフラ整備や管理等に必要な場所（作業小屋等）を確保する必要がある。

(報告書の取りまとめについて)

- ・展示・提供の場については、商品やタオル等という表現ではなく、食器類や衣類等としたほうが良い。
- ・情報提供・学習の場について、ごみだけでなく環境問題や資源についても幅広く学んでいただけるような仕組みづくり（展示品など）が必要である。

【総括】

修理・再生の場

- ・家具工房、自転車工房は、多目的工房を活用するため常設の整備はしない。
- ・家電製品工房は、事故等が起こった場合の責任の問題があることから整備しない。

展示・提供の場

- ・再生品等展示コーナー、不用品情報交換コーナーは、一体的に整備することが望ましい。

情報提供・学習の場

- ・環境学習コーナーは、整備することが望ましい。
- ・リサイクル体験コーナーは、多目的工房と兼ねて整備することが望ましい。
- ・環境学習教室は、会議室を利用することが考えられるため、情報提供機能の整備を検討する。

地域活動・コミュニティ形成支援の場

- ・講演会・イベントの場は、会議室を利用した小規模の講演会等を考慮し、情報提供機能の整備を検討する。
- ・地域・グループ活動の場は、会議室を利用することが考えられるため、会議室を分割できる機能の整備を検討する。

報告書の取りまとめについて

- ・ 報告書は、4つの構成により作成してはどうか。
- ・ 構成として、下記のようにしてはどうか。

はじめに（委員会設置の目的等）

- ① コンセプト
- ② 施設の啓発機能
- ③ 周辺整備について
- ④ 施設の運営について

おわりに（建設工事仕様書への反映）